

開講年度：2026

科目名	成長と発達 Pediatrics	題目（副題）	小児医学・成長発達医学	
担当教員、教員連絡先内線	中沢 洋三 他 中沢洋三 内線：5269			
学年、講義期間、曜日・時限	3年 後期（随時） 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・2時限 水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限 水曜・6時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限			
単位数、講義室	3単位	医学科第2臨床講堂		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業達成目標	
	M21カリ・医学			
	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。		成長発達の特性をふまえて臨床実習を行えるようにするために、基本的な小児疾患の知識、病児およびその保護者と接する態度、小児を診察する手技を理解する。	
	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		成長発達の健全な促進を考察するために、精神運動発達の評価、医療周辺との協調、疾病予防の実際を理解する。	
	M26カリ・医学、M25カリ・医学、M24カリ・医学、M23カリ・医学、M22カリ・医学			
	基礎的・専門的な知識と技能 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。		成長発達の健全な促進を考察するために、精神運動発達の評価、医療周辺との協調、疾病予防の実際を理解する。	
臨床実習前の到達目標	問題解決力 患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。		成長発達の特性をふまえて臨床実習を行えるようにするために、基本的な小児疾患の知識、病児およびその保護者と接する態度、小児を診察する手技を理解する。	
	・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。			
	授業で学べる「テーマ」			
	その他			
	全学横断特別教育プログラム			
	授業のキーワード			
成長、発達、小児疾患、小児保健、疾病予防、保護者、病態と治療の関連実務経験のある教員による授業科目				
授業の概要・一般目標	E-7 胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴及び精神・社会的な問題を説明できる。 ・症状や所見に基づいて成長発達段階に応じた鑑別診断を列挙できる。 ・鑑別や病状把握を行う上で必要な検査を選択できる。 ・小児疾患の病態を説明できる。 ・病態と関連づけて適切な治療法を説明できる。 ・小児保健や疾病予防についての重要性を具体的に述べることができる。 ・小児保健や疾病予防について医療周辺との協調を概説できる。			
テキスト，教材，参考書	教科書： 標準小児科学 第9版（医学書院） 標準小児外科学 第8版（医学書院） 参考書： NELSON TEXTBOOK OF PEDIATRICS 21th Edition (SAUNDERS) ネルソン小児科学 原著第19版（エルゼビア・ジャパン） エビデンスに基づく小児科 総合診療編・専門診療編（医学教育出版社）			
履修上の注意	講義の前に教科書、講義資料を自学自習し、講義ではその内容を確認するよう努めること。 講義で学んだ内容を整理して、知識の拠点作りをすること。			
授業の形式，視聴覚機器等の活用	講義（プリント、PCプレゼンテーション、ビデオなどを活用） 本授業は基本的に対面で実施する。			
成績評価の方法	中間試験（46.7％）と期末試験（53.3％）にて評価を行う。 総得点の60%以上を合格とする。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。			
成績評価の基準	90 - 100点：秀 80 - 89点：優 70 - 79点：良 60 - 69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。			
事前事後学習の内容	教科書の該当範囲を予習しておくこと。			

事前事後学習の内容	レジュメをeALPSにアップしておくので予習しておくこと。 本授業の単位修得には63時間分の時間外学修が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	小児医学に必要な知識は病児や保護者の要求に応えうるものでなければなりません。そのためには病態とそれに対する治療方針の脈絡を捉える姿勢が重要です。単に疾患の知識を得るだけではなく、病児や保護者の倫理面や心情に配慮し、病態や治療についてどのように説明すればよいか、講義を受けながら常に自分なりに考えて下さい。 オフィスアワー 中沢洋三 小児医学教室 教授 毎週火曜日12:00-13:00 TEL 0263-37-2642（内線 5269）、 FAX 0263-37-3089

授業日	第 1 回	9月29日(火 2)	SB0s	E-7-2) 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。 乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。 F-2-3) 小児の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。 E-7-3) 小児保健における予防接種の意義を説明できる。 成長に関わる主な異常(小児心身症を含む)を列挙できる。 小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。 ・小児の特性と小児医学の特徴を説明できる。 ・社会医学における小児医学の重要性を認識し、小児診療の特異性を説明できる。 ・小児の成長の実態とその評価について説明できる。 ・小児の運動・精神・言語発達について説明できる。 ・検査値の年齢的变化を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児医学の特性と小児の成長発達、小児保健および小児の正常値について理解する。			
担当	稲葉雄二(特任教授)長野県立こども病院長			
授業日	第 2 回	9月29日(火 3)	SB0s	E-7-1) 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 新生児の生理的特徴を説明できる。 ・正常胎児・新生児の代謝・内分泌・呼吸・循環・血液・免疫・中枢神経系の生理および解剖が理解できる。 ・新生児の診察法、新生児に特徴的な身体・検査所見を説明できる。 ・母体胎児情報の読み方を理解できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	正常新生児の解剖と生理を理解する。			
担当	神谷素子			
授業日	第 3 回	9月29日(火 4)	SB0s	E-7-1) 主な先天性疾患を列挙できる。 胎児機能不全(non-reassuring fetal status <NRFS>)を説明できる。 新生児仮死の病態を説明できる。 新生児マスキングを説明できる。 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。 新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。 正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。 低出生体重児固有の疾患を概説できる。 D-6-4)-(7) 新生児呼吸促進症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	新生児の疾患について病態、治療および予後を理解する(1)。			
担当	三代澤幸秀			
授業日	第 4 回	9月29日(火 5)	SB0s	E-7-1) 主な先天性疾患を列挙できる。 胎児機能不全(non-reassuring fetal status <NRFS>)を説明できる。 新生児仮死の病態を説明できる。 新生児マスキングを説明できる。 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。 新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。 正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。 低出生体重児固有の疾患を概説できる。 D-6-4)-(7) 新生児呼吸促進症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	新生児の疾患について病態、治療および予後を理解する(2)。			
担当	三代澤幸秀			
授業日	第 5 回	9月29日(火 6)	SB0s	D-8-1) 体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 腎の機能の全体像およびネフロン各部の構造と機能を概説できる。 D-8-4)-(1) 小児の急性・慢性腎不全(急性・慢性腎障害)の病因、症候、診断と治療を説明できる。 D-8-4)-(2) 小児の急性・慢性糸球体腎炎症候群(IgA腎症を含む)の病因、症候、診断と治療を説明できる。 D-8-4)-(7) 腎尿路の主な先天異常(多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流)を概説できる。 D-8-4)-(8) 尿路の炎症(膀胱炎)、夜尿症の病因、診断と治療を説明できる。 F-2-11) 乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の腎臓の解剖および生理について理解し、小児の糸球体疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。 小児の腎疾患および泌尿器疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	丸山悠太			
授業日	第 6 回	9月30日(水 2)	SB0s	E-4-3)-(2) 若年性特発性関節炎(juvenile idiopathic arthritis <JIA>)の特徴を説明できる。 ・全身性エリテマトーデス(SLE)、皮膚筋炎、混合性結合組織病(MCTD)およびシェーグレン症候群について疫学および小児期の特徴を説明できる。 ・SLE、皮膚筋炎、MCTDおよびシェーグレン症候群について病態、治療および合併症を説明できる。 ・リウマチ熱とアレルギー性紫斑病について病態、治療および合併症を説明できる。 ・ペーチェット病について小児期の特徴も含めて病態、治療および予後を説明できる。 E-4-3)-(5) Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の膠原病、その類縁疾患および川崎病について疫学、病態、治療および合併症を理解する。			
担当	小林法元(特任准教授)長野赤十字病院小児科部長			
授業日	第 7 回	9月30日(水 3)	SB0s	D-6-4)-(3) 小児気管支喘息の病態生理、診断と治療を説明できる。 E-4-3)-(6) 主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。 アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。 食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。 ・肺炎などの小児の呼吸器感染症および間質性肺炎について病態、治療および予後について説明できる。 ・アトピー性皮膚炎、食物アレルギーおよびアレルギー性鼻炎について疫学、病態、治療および予後を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の呼吸器疾患とアレルギー疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	小林法元(特任准教授)長野赤十字病院小児科部長			
授業日	第 8 回	9月30日(水 5)	SB0s	E-7-3) 小児免疫発達と感染症の関係を概説できる。 E-4-3)-(7) 原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。 E-2-4)-(1) ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症の症候と診断と治療及び感染対策を説明できる。 ・原発性免疫不全症を遺伝性と関連づけて分類し、疫学を説明できる。 ・原発性免疫不全症を感染の特徴と関連づけて病態を説明できる。 ・主な原発性免疫不全症について治療および予後を説明できる。 ・小児のAIDSの疫学、病態、治療および予後を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の免疫不全症について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	丸山悠太			

授業日	第 9 回	9月30日(水 6)	SB0s	B-1-8) 予防接種の意義と現状を説明できる。 E-2-2) 予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。 E-2-4)-(2) 黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 A 群 β 溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。 インフルエンザ(桿)菌感染症と Moraxella catarrhalis 感染症を説明できる。 マイコプラズマ感染症を説明できる。 クラミジア感染症を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の細菌感染症について疫学、病態、治療および合併症を理解する。 小児の予防接種の意義と現状を理解する。			
担当	丸山悠太			
授業日	第 10 回	10月 1日(木 1)	SB0s	・染色体異常症の分類と頻度を説明できる。 ・染色体検査の適応、染色体検査時に得るべきインフォームド・コンセントの内容、先天異常における染色体検査の意義について説明できる。 ・主な染色体異常症（ダウン症候群、18トリソミー症候群、13トリソミー症候群、4p-症候群、5p-症候群、ターナー症候群など）の症状および予後を説明できる。 ・染色体異常児の医療、染色体異常と遺伝カウンセリングについて説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	染色体異常症について分類し、疫学、症状および予後を理解する。			
担当	古庄知己			
授業日	第 11 回	10月 1日(木 2)	SB0s	・Dysmorphology（異常形態学）の概要を述べることができる。Dysmorphology（異常形態学）の概要を述べることができる。 ・形態異常の分類（奇形・連鎖・連鎖・変形・異形成）を説明できる。 ・大奇形、小奇形、先天奇形症候群の診断法、先天奇形症候群の分子遺伝学的発症機序について説明できる。 ・主な先天奇形症候群（de Lange 症候群、Prader-Willi 症候群、Williams 症候群など）について疫学、症状および診断法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	先天奇形症候群について疫学、症状および予後を理解する。			
担当	高野亨子			
授業日	第 12 回	10月 1日(木 3)	SB0s	D-5-4)-(6) 主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot 四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。 ・胎児循環から成人循環に移行する新生児期、急速な身体発育がみられる乳児期、運動量が増加する幼児期から若年期まで、その各段階における特有な循環動態の生理的特徴を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の循環動態を理解し、先天性心疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	赤澤陽平(委嘱講師)長野県立こども病院 循環器小児科副部長			
授業日	第 13 回	10月 1日(木 4)	SB0s	・小児の主要な後天性心疾患について血行動態、病態所見（臨床症状、身体所見、検査所見）についてその特徴を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の後天性心疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	赤澤陽平(委嘱講師)長野県立こども病院 循環器小児科副部長			
授業日	第 14 回	10月 1日(木 5)	SB0s	
講義室				
G10	自習			
担当				
授業日	第 15 回	10月 2日(金 2)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 16 回	10月 2日(金 3)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 17 回	10月 2日(金 4)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				

授業日	第 18 回	10月 2日(金 5)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 19 回	10月 2日(金 6)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 20 回	10月 5日(月 2)	SB0s	中間試験
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	中間試験			
担当	中沢洋三、坂本謙一			
授業日	第 21 回	10月 5日(月 3)	SB0s	A-3-1) 小児の緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。 A-7-1)、B-1-7) 地域における小児救急医療の体制を説明できる。 E-7-2) 乳幼児突然死候群(sudden infant death syndrome <SIDS>)を説明できる。 ・小児の主な中毒、事故、消化管異物等の症状および対処法を説明できる。 ・小児死亡統計についてその特徴を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児救急疾患および集中治療を理解する。			
担当	松井彦郎（特別講師）神原記念病院 小児周産期 診療部長 / 小児循環器内科 主任部長			
授業日	第 22 回	10月 5日(月 4)	SB0s	E-7-2) 乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。 E-7-3) 小児の栄養上の問題点を列挙できる。 D-7-4)-(4) 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。 ・小児の栄養所要量について説明できる。 ・母乳栄養と人工栄養の差異を説明できる。 ・微量元素不足について説明できる。 ・小児の肝胆膵疾患について病態および治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の栄養および小児の肝胆膵疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	倉沢伸吾			
授業日	第 23 回	10月 5日(月 5)	SB0s	D-7-4)-(2) 肥厚性幽門狭窄症を概説できる。 D-7-4)-(3) 大腸の主な先天性疾患（鎖肛、Hirschsprung 病）を概説できる。 腸重積症を概説できる。 便秘症、乳児下痢症を説明できる。 ・小児の嘔吐、下痢、腹痛および消化管出血などの症状から鑑別診断が列挙できる。 ・胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌感染、潰瘍性大腸炎、クローン病、好酸球性消化管疾患、機能性消化管疾患などについて疫学、病態、治療および予後を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の消化管疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	倉沢伸吾			
授業日	第 24 回	10月 5日(月 6)	SB0s	・小児固形腫瘍について疫学、病態、治療および予後を説明できる。 D-12-4)-(10) 神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の腫瘍性疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	齋藤章治			
授業日	第 25 回	10月 6日(火 2)	SB0s	E-7-3) 小児の精神運動発達及び心身相関を説明できる。 E-7-4) 移行期医療の現状と課題を説明できる。 ・小児の運動機能、社会性、知能の発達段階を説明できる。 ・正常発達からみた筋・神経系の異常を説明でき、鑑別診断ができる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の神経・筋疾患を正常発達と比較して理解する。			
担当	福山哲広			
授業日	第 26 回	10月 6日(火 3)	SB0s	・小児に特有な神経疾患と筋疾患について疫学、病態、治療および予後を説明できる。 ・小児の正常脳波と異常脳波の違いについて説明できる。 E-7-3) 児童虐待を概説できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の神経・筋疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	福山哲広			

授業日	第 27 回	10月 6日(火 4)	SB0s	・小児の糖尿病について疫学、病態、治療および予後を説明できる。 ・小児の肥満について疫学、病態、治療および予後を説明できる。 ・先天性代謝異常症の臨床症状と問題点を知り、鑑別診断ができる。 E-7-1) 新生児マススクリーニングを説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の代謝疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	柴崎拓実			
授業日	第 28 回	10月 6日(火 5)	SB0s	・脳下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎（皮質・髄質）および性腺のホルモンについて小児に特徴的な動態を説明できる。 ・小児の主な内分泌疾患について疫学、病態、治療および予後を説明できる。 ・成長障害(低身長、思春期発来異常等)について鑑別、説明できる。 D-12-3)-(1) 低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。 D-12-4)-(1) 成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。 D-12-4)-(4) 先天性副腎（皮質）過形成を概説できる。 E-7-4) 思春期発現の機序と特徴を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の内分泌疾患について疫学、病態、治療および予後を理解する。			
担当	柴崎拓実			
授業日	第 29 回	10月 7日(水 1)	SB0s	D-15-3) 知的発達症と自閉スペクトラム症(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。 注意欠如多動症(attention deficit hyperactivity disorder <ADHD>)を概説できる。 E-7-3) 神経発達症（自閉スペクトラム症<ASD>、注意欠如多動症<ADHD>、限局性学習症、チック症）を列挙できる。 ・小児の心身症の症状、治療および予後を説明できる。 ・小児の発達障害の特性、診断、対応・支援法の概要を説明できる。 E-7-4) 思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児の心身症および発達障害について症状、治療・対応、予後等について理解する。			
担当	新美妙美			
授業日	第 30 回	10月 7日(水 2)	SB0s	E-7-1) 主な先天性疾患を列挙できる。 ・先天性嚢胞について説明できる。 ・嚢胞性肺疾患について説明できる ・小児期に発症する呼吸器系疾患を列挙できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児外科疾患 1 頭頸部・呼吸器			
担当	吉澤一貴（委嘱講師）長野県立こども病院 小児外科 フ ェロー			
授業日	第 31 回	10月 7日(水 3)	SB0s	E-7-1) 主な先天性疾患を列挙できる。 ・先天性消化管閉鎖症について説明できる。 ・胆道閉鎖症、胆道拡張症について説明できる。 ・小児期に発症する消化器系疾患を列挙できる。 D-7-3)-(2) ・黄疸や腹痛、嘔吐などの症状から鑑別を絞り込める。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	小児外科疾患 2 消化器			
担当	吉澤一貴（委嘱講師）長野県立こども病院 小児外科 フ ェロー			
授業日	第 32 回	10月 7日(水 4)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 33 回	10月 7日(水 5)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 34 回	10月 7日(水 6)	SB0s	E-7-3) 体幹部における先天異常（漏斗胸、鳩胸）についてその成因、診断、治療について説明できる。 E-7-3) 頭蓋の先天異常についてその成因、診断、治療について説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	体幹部、頭蓋の先天異常について理解する。			
担当	野口昌彦(委嘱講師)長野県立こども病院 形成外科部長			
授業日	第 35 回	10月 8日(木 2)	SB0s	E-7-1,2,3) 手足における先天異常についてその成因、診断、治療について説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	手足の先天異常について理解する。			
担当	秋元 証人			

授業日	第 36 回	10月 8日(木 3)	SB0s	E-2-4)-(1)
講義室	医学科第2臨床講堂			インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。
G10	小児のウイルス感染症について疫学、病態、治療および合併症を理解する。			麻疹の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。
				風疹の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。
				水痘・帯状疱疹の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。
				流行性耳下腺炎（ムンプス）の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。
				ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症の症候と診断と治療及び感染対策を説明できる。
				単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症を説明できる。
				サイトメガロウイルス<CMV>感染症を説明できる。
担当	坂本謙一			・小児の主なウイルス感染症について疫学、病態、治療および合併症を説明できる。
				・二次的な免疫異常を伴う小児のウイルス感染症について病態、治療および予後を説明できる。
				・重篤な病変をきたす小児のウイルス感染症について病態と予後を説明できる。
授業日	第 37 回	10月 8日(木 4)	SB0s	・各臓器の奇形について発生学的に説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			E-7-1)
G10	小児疾患の病理について学ぶ。 (非腫瘍性疾患)			胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。
				主な先天性疾患を列挙できる。
担当	浅香志穂(特任講師) 長野県立こども病院 臨床検査・病理診断科部長			
授業日	第 38 回	10月 8日(木 5)	SB0s	・小児腫瘍の分類および分子生物学的特徴について説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			E-3-5)
G10	小児疾患の病理について学ぶ。 (腫瘍性疾患)			血液・造血器・リンパ系：急性白血病、悪性リンパ腫
				神経系：脳・脊髄腫瘍
				運動器（筋骨格系）：骨肉腫
				生殖機能：精巣腫瘍、卵巣腫瘍
				眼・視覚系：網膜芽腫
				小児腫瘍：神経芽腫
担当	浅香志穂(特任講師) 長野県立こども病院 臨床検査・病理診断科部長			
授業日	第 39 回	10月 8日(木 6)	SB0s	E-7-1,2,3,4)
講義室	医学科第2臨床講堂			血管腫、血管奇形の分類、診断、治療について説明できる。
G10	血管腫・血管奇形について理解する。			
担当	杠 俊介			
授業日	第 40 回	10月 9日(金 2)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 41 回	10月 9日(金 3)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 42 回	10月 9日(金 4)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 43 回	10月 9日(金 5)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 44 回	10月 9日(金 6)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				

授業日	第 45 回	10月13日(火 2)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 46 回	10月13日(火 3)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 47 回	10月13日(火 4)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 48 回	10月13日(火 5)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 49 回	10月13日(火 6)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 50 回	10月14日(水 2)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 51 回	10月14日(水 3)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 52 回	10月14日(水 4)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 53 回	10月14日(水 5)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 54 回	10月14日(水 6)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当				

授業日	第 55 回 10月19日(月 2)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂		
G10	期末試験 授業のふりかえりを入力する。		
担当	中沢洋三、坂本謙一		